

様式第 1 - 1 (日本産業規格 A 列 4 番)

番 号
令和 年 月 日

国土交通大臣 殿

氏名又は名称 赤井川村地域公共交通活性化協議会
住 所 北海道余市郡赤井川村字赤井川 74 番地 2
代表者氏名 会 長 大 石 和 朗

地域内フィーダー系統確保維持計画認定申請書

地域内フィーダー系統確保維持計画を別紙のとおり定めたので、関係書類を添えて申請します。

※本申請書に、記載すべき事項を全て記した地域公共交通計画を添付すること。

生活交通確保維持改善計画の名称
令和6年度赤井川村地域内フィーダー系統確保維持計画
1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性
<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月末をもって中央バス「赤井川線」が廃止となり、令和4年4月より赤井川村地域公共交通バス（むらバス）の運行を開始した。 ・むらバスは高校生の通学のほか、買い物や通院等による日常的な利用がみられ、自家用車を持たない村民にとっては、重要な交通手段となっている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自家用車を持たない村民が赤井川村で生活し続けるための、村内や余市町等への交通手段の確保 ・村民の移動ニーズに即した新たな公共交通の運行 <p>【解決方策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・村民ニーズに即し、効率性及び持続性を考慮した新たな公共交通の運行 ・赤井川村内及び余市町内での利用者ニーズの高い施設への立ち寄りを考慮した路線
2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果
（1）事業の目標
<ul style="list-style-type: none"> ・むらバスの利用者数を7,000人とする。 ・むらバスの収支率を20.0%とする （赤井川村地域公共交通計画 P46 参照）
（2）事業の効果
<ul style="list-style-type: none"> ・村民の生活圏自治体である余市町までの移動手段を確保することにより、自家用車を持たない村民が赤井川村で生活し続けられる環境を構築。 ・また、高齢者の免許返納の促進が期待される。
3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体
<ul style="list-style-type: none"> ・地域間幹線系統の維持に向けた余市駅における接続の確保（協議会） ・生活圏を踏まえ公共交通情報の提供（赤井川村） ・公共交通に参画するための利用ガイドツアーの実施（赤井川村） ・協働で創り上げる公共交通の運行に向けた意見交換会の実施（赤井川村） （赤井川村地域公共交通計画 P40～45 参照）
4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者
<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付。

5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者
地域公共交通確保維持事業によって運行の維持を図るむらバスについて、その運行に係る費用総額 18,076,300 円のうち、赤井川村から運行事業者へ委託する委託料については、運行収入及び国庫補助金を運行経費から差し引いた差額分を負担することとしている。
6. 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称
・赤井川村
7. 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定方法 【活性化法法定協議会を補助対象事業者とする場合のみ】
※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準ニただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
9. 別表 1 の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
10. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項 【地域間幹線系統のみ】
※該当なし
11. 外客来訪促進計画との整合性 【外客来訪促進計画が策定されている場合のみ】
※該当なし
12. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 【地域内フィーダー系統のみ】
・地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表 5」を添付。
13. 車両の取得に係る目的・必要性 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
※該当なし
14. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし

15. 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者【 <u>車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし
16. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） 【 <u>公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし
17. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 【 <u>貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし
18. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 【 <u>貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
19. 貨客混載の導入に係る計画の概要 【 <u>貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし
20. 貨客混載の導入に要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額 【 <u>貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ</u> 】
※該当なし

21. 協議会の開催状況と主な議論

【令和元年度】

- ・第1回（10月28日）：協議会設立、赤井川線の運行状況を踏まえた今後の取組
- ・第2回（11月22日）：赤井川線の日曜祝日の運行休止に対する市町村有償運送による代替交通について
- ・第3回（2月7日）：地域公共交通計画策定に係る事業の実施内容案について

【令和2年度】

- ・第1回（6月3日）：計画策定業務に係る予算について
- ・第2回（9月14日）：計画策定支援業務について、アンケート調査について
- ・第3回（12月3日）：計画策定支援業務の中間報告
- ・第4回（3月24日）：令和3年度実施予定の実証運行について

【令和3年度】

- ・第1回（6月11日）：令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画案、実証運行案
- ・第2回（8月27日）：赤井川村地域公共交通実証運行について
- ・第3回（9月24日）：実証運行路線変更、観光庁補助事業を活用した民間バス会社による小樽・キロロ間等の実証運行 ※書面開催
- ・第4回（11月17日）：自家用有償旅客運送（交通空白地有償運送）の更新 ※書面開催
- ・第5回（12月28日）：実証運行結果、赤井川村地域公共交通計画案
- ・第6回（2月24日）：令和4年4月からの新たな公共交通運行体制、令和4年度地域内フィーダー系統確保維持計画変更案

【令和4年度】

- ・第1回（5月27日）：令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画案
- ・第2回（1月18日）：地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価 ※書面開催
- ・第3回（2月22日）：バス停の移設、むらバス運行ダイヤの変更

【令和5年度】

- ・第1回（6月21日）：令和6年度地域内フィーダー系統確保維持計画案

22. 利用者等の意見の反映状況

- ・令和2年度から令和4年度に実施した「住民懇談会」や「利用者アンケート調査」により、移動ニーズを把握した。
- ・調査結果に基づき、余市駅で他公共交通との接続強化及び訪問ニーズの高い施設へ立ち寄る運行路線及び運行ダイヤとする運行計画を検討した。

23. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	北海道後志総合振興局 地域創生部 地域政策課
関係市区町村	赤井川村
交通事業者・交通施設管理者等	北海道中央バス(株)、(有)赤井川ハイヤー、小樽つばめ交通(株)、(株)KRH、赤井川村訪問介護事業所、イナホ観光(株)
地方運輸局	国土交通省北海道運輸局札幌運輸支局
その他協議会が必要と認める者	赤井川村連合PTA、学校校長会、商工会、福祉協議会、老人クラブ、観光協会、民生委員協議会、高校通学生保護者

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 赤井川村字赤井川74-2

(所 属) 赤井川村総務課総務係

(氏 名) 末次 司

(電 話) 0135-34-6211

(e-mail) soumu1@vill.akaigawa.lg.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

また、既存計画部分で生活交通確保維持改善計画の記載項目に合致する部分は、そこからの転記や、該当部分を明確にした上での添付などにより活用いただいて差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通計画及び地域公共交通利便増進実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、生活交通確保維持改善計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

外客来訪促進計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内ファイダー系統)

令和6年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利便増進 特例措置	地域内ファイダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)		
			起点	經由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策
赤井川村	赤井川村	(1) 赤井川線	キロロマウ ンテンセン ター	赤井川市街 地	コープさつ ぼろ赤市 店前	往 36.9km 復 36.9km	360 日	900.0 回		①・②(1)	・余市駅で補助対象地域 間幹線系統「稲丹線」及 び、鉄道と接続	③
						往 km 復 km	日	回				
						往 km 復 km	日	回				
						往 km 復 km	日	回				
						往 km 復 km	日	回				

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「經由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄に「循環」と記載すること。
3. 「利便増進特例措置」については、地域公共交通利便増進実施計画の認定を受け、地域内ファイダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内ファイダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	赤井川村
------	------

(単位:人)

	人口
人口集中地区以外	1,165
交通不便地域	1,165

交通不便地域の内訳

人口	対象地区	根拠法
1,165	全村	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画の策定年月日及び算定式適用開始年度

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
赤井川村地域公共交通計画	令和4年3月28日	

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
※なお、実施要領等で別に定める場合は、それによること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ロ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ロ②（2）（実施要領の2.（1）⑭））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が上記3.に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。

(2) 添付書類

1. 人口集中地区以外の地区及び交通不便地域の区分が分かる地図（ただし、全域が交通不便地域となる場合には省略可）

運行回数・実車走行キロ算定表①

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
 *2 天災は、運休のうちにやむを得ない理由のもの

運行系統	赤井川線		計 画										実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)	
	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	1日当たり 運行回数 C	計画運行回数 (い)	C	D 又は G	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 G	運行日数 H	実績運行日数 I	実績運行回数 (ろ)	H	運休回数 (い)-(ろ)=(ほ)	やむを得ない運休回数 (に)	I		100.00
5年 10月	土日祝	往	36.9	1	10	369.0												
		復	36.9	2	15.0	738.0												
	土日祝	往	38.7	1	10.0	387.0												
		復	38.7	1	10.0	387.0												
	平日	往	36.9	1	21.0	774.9												
		復	36.9	2	31.5	1,549.8												
	平日	往	38.7	1	21.0	812.7												
		復	38.7	1	21.0	812.7												
小 計				31	77.5	5,831.1												5,831.1

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画										実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)	
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 G	運行日数 H	増便 I	運休回数*1 運休(-) J	天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E+I+M=N			
5年 11月	土日祝	往	36.9	1	10	369.0													
		復	36.9	2	15.0	738.0													
	土日祝	往	38.7	1	10.0	387.0													
		復	38.7	1	10.0	387.0													
	平日	往	36.9	1	20.0	738.0													
		復	36.9	2	30.0	1,476.0													
	平日	往	38.7	1	20.0	774.0													
		復	38.7	1	20.0	774.0													
小 計				30	75.0	5,643.0													5,643.0

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画										実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)	
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 G	運行日数 H	増便 I	運休回数*1 運休(-) J	天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E+I+M=N			
5年 12月	土日祝	往	36.9	1	8	295.2													
		復	36.9	2	12.0	590.4													
	土日祝	往	38.7	1	8.0	309.6													
		復	38.7	1	8.0	309.6													
	平日	往	36.9	1	20.0	738.0													
		復	36.9	2	30.0	1,476.0													
	平日	往	38.7	1	20.0	774.0													
		復	38.7	1	20.0	774.0													
小 計				28	70.0	5,266.8													5,266.8

運行回数・実車走行キロ算定表①

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
 *2 天災時は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	赤井川線		計 画										実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)
	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	1日当たり 運行回数 C	計画運行回数 (い) D	又は 計画実車走行キロ E	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 G	実績運行日数 H	実績運行回数 (ろ) K	実績実車走行キロ N	運行回数 (い)-(ろ) (ハ)	運行回数 (い)-(ろ) (ハ)	増 L	減 M	E+L+M N	
6年 1月	土日祝	往復 36.9	1	9	13.5	332.1										332.1	
	復 36.9	2			664.2											664.2	
平日	往復 38.7	1	9	9.0	348.3											348.3	
	復 38.7	1			348.3											348.3	
平日	往復 36.9	1	19	28.5	701.1											701.1	
	復 36.9	2			1,402.2											1,402.2	
平日	往復 38.7	1	19	19.0	735.3											735.3	
	復 38.7	1			735.3											735.3	
小 計			28	70.0	5,266.8											5,266.8	

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画				実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)				
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行キロ A×B×C=E	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 G	運行日数 H	増便 I	減便 J		天災*2 I	D+I+J K	増 L	減 M
6年 2月	土日祝	往復 36.9	1	10	15.0	369.0										369.0
	復 36.9	2			738.0											738.0
平日	往復 38.7	1	10	10.0	387.0											387.0
	復 38.7	1			387.0											387.0
平日	往復 36.9	1	19	28.5	701.1											701.1
	復 36.9	2			1,402.2											1,402.2
平日	往復 38.7	1	19	19.0	735.3											735.3
	復 38.7	1			735.3											735.3
小 計			29	72.5	5,454.9											5,454.9

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画				実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)				
				運行日数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行キロ A×B×C=E	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 G	運行日数 H	増便 I	減便 J		天災*2 I	D+I+J K	増 L	減 M
6年 3月	土日祝	往復 36.9	1	11	16.5	405.9										405.9
	復 36.9	2			811.8											811.8
平日	往復 38.7	1	11	11.0	425.7											425.7
	復 38.7	1			425.7											425.7
平日	往復 36.9	1	20	30.0	738.0											738.0
	復 36.9	2			1,476.0											1,476.0
平日	往復 38.7	1	20	20.0	774.0											774.0
	復 38.7	1			774.0											774.0
小 計			31	77.6	5,831.1											5,831.1

運行回数・実車走行キロ算定表①

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
 *2 天災欄は、運休のうやむやを得ない理由のもの

運行系統	赤井川線		計 画										実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)
	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	1日当たり 運行回数 2.5	計画運行回数 (A) D又はG	C	360	実績運行日数 H	実績運行回数 (B) K	やむを得ない運休回数 (I) = (B) × (H) / (A)	運休回数 (J) = (I) × (C) / (D)	運行回数 (L) = (K) - (I)	増 L	減 M	実車走行キロ E=L+M		
年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	運行日数 C	運行回数 B×C=D	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 g	運行日数 H	増便 I	運休(-) J	天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E=L+M=N		
6年 4月	土日祝	往復 36.9	1	9	13.5							13.5			332.1		
	復	36.9	2												664.2		
	循																
	往復 38.7	1	9	9.0								9.0			348.3		
復	38.7	1												348.3			
循																	
平日	往復 36.9	1	21	31.5								31.5			774.9		
復	36.9	2													1,549.8		
循																	
平日	往復 38.7	1	21	21.0								21.0			812.7		
復	38.7	1													812.7		
循																	
小 計				30	75.0							75.0			5,643.0		

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画				実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)			
				運行日数 C	運行回数 B×C=D	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 g	運行日数 H	増便 I	運休(-) J	天災*2 I		D+I+J=K	増 L	減 M
6年 5月	土日祝	往復 36.9	1	10	15.0							15.0			369.0
	復	36.9	2												738.0
	循														
	往復 38.7	1	10	10.0								10.0			387.0
復	38.7	1												387.0	
循															
平日	往復 36.9	1	21	31.5								31.5			774.9
復	36.9	2													1,549.8
循															
平日	往復 38.7	1	21	21.0								21.0			812.7
復	38.7	1													812.7
循															
小 計				31	77.5							77.5			5,831.1

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画				実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)			
				運行日数 C	運行回数 B×C=D	調整(路線不定期のみ) 調整% F	運行回数 g	運行日数 H	増便 I	運休(-) J	天災*2 I		D+I+J=K	増 L	減 M
6年 6月	土日祝	往復 36.9	1	10	15.0							15.0			369.0
	復	36.9	2												738.0
	循														
	往復 38.7	1	10	10.0								10.0			387.0
復	38.7	1												387.0	
循															
平日	往復 36.9	1	20	30.0								30.0			738.0
復	36.9	2													1,476.0
循															
平日	往復 38.7	1	20	20.0								20.0			774.0
復	38.7	1													774.0
循															
小 計				30	75.0							75.0			5,643.0

運行回数・実車走行キロ算定表①

*1 運行回数は、往復1回、片道0.5回
ただし、循環系統は1運行1回
*2 天災等は、運休のうちやむを得ない理由のもの

運行系統	赤井川線		計 画										実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)
	年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	1日当たり 運行回数 C	計画運行回数 (い)	C	調整(路線不定期のみ) 調整% F	調整(路線不定期のみ) 運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休(-) J	天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	
6年	7月	土日祝	往復 36.9	1	9	36.9	360							13.5			332.1
		往復 36.9	2		900.0												664.2
7月	土日祝	往復 38.7	1	9	38.7	67,716.0								9.0			348.3
		往復 38.7	1		67,716.0												348.3
平日	平日	往復 36.9	1	22	36.9									33.0			811.8
		往復 36.9	2		900.0												1,623.6
平日	平日	往復 38.7	1	22	38.7									22.0			851.4
		往復 38.7	1		67,716.0												851.4
小計				31	77.5	5,831.1							77.5				5,831.1

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画				実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)					
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整(路線不定期のみ) 調整% F	調整(路線不定期のみ) 運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休(-) J		天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E+L+M=N
6年	8月	往復 36.9	1	10	36.9	360								15.0			369.0
		往復 36.9	2		738.0												738.0
8月	土日祝	往復 38.7	1	10	38.7	387.0								10.0			387.0
		往復 38.7	1		387.0												387.0
平日	平日	往復 36.9	1	21	36.9	774.9								31.5			774.9
		往復 36.9	2		1,549.8												1,549.8
平日	平日	往復 38.7	1	21	38.7	812.7								21.0			812.7
		往復 38.7	1		812.7												812.7
小計				31	77.5	5,831.1							77.5				5,831.1

年月	曜日 区分	片道・循環 系統キロ A	片道・循環 回数 B	計 画				実 績				備 考 (調整、増便、運休回数理由等)					
				運行回数 C	運行回数*1 B×C=D	実車走行km A×B×C=E	調整(路線不定期のみ) 調整% F	調整(路線不定期のみ) 運行回数 G	運行回数 H	増便 I	運休(-) J		天災*2 I	D+I+J=K	増 L	減 M	E+L+M=N
6年	9月	往復 36.9	1	11	36.9	405.9								16.5			405.9
		往復 36.9	2		811.8												811.8
9月	土日祝	往復 38.7	1	11	38.7	425.7								11.0			425.7
		往復 38.7	1		425.7												425.7
平日	平日	往復 36.9	1	19	36.9	701.1								28.5			701.1
		往復 36.9	2		1,402.2												1,402.2
平日	平日	往復 38.7	1	19	38.7	735.3								19.0			735.3
		往復 38.7	1		735.3												735.3
小計				30	76.0	5,643.0							76.0				5,643.0
合計				360	900.0	67,716.0							900.0				67,716.0